

# 【大学間協定留学】留学近況報告書

記入日	2025年 11月 4日
留学先大学/国名	ノーザン州立大学（日本語名）国名:アメリカ合衆国 Northern State University(現地言語名)
留学先の所属学部等	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している（以下に学部等名を記入） ※学部等名 日本語名: 現地言語での名称:  <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
留学期間	2025年9月～2026年5月
明治大学の所属学部等 ※学部・学科・研究科・専攻等	国際日本学部 国際日本学科
学年 ※出発時の本学での学年	2年生
<b>I. 出発前にどのように情報を集め、準備をしましたか。しておいて良かったこと、準備不足だったこと、ぜひ次の学生に準備としてアドバイスしたいことを記述してください。</b>	
主に過去の留学報告書と友人から情報を集めました。ビザ関連の情報は公式サイトや SNS を見て調べましたが、万が一に備えてニュースを見るをお勧めします。現地での支払いはカードで行うことがほとんどですが、友達と割り勘したりチップを払うことが多いので、現金は多めに持っていくと安心です。現地到着後すぐに英語での会話が始まるので、簡単なフレーズやスラングなどを覚えておくとネイティブと会話する時に気が楽だと思います。	
<b>II-1. 留学のための渡航前手続き(留学ビザ) ※詳細に記入して下さい</b>	
ビザの種類: F-1	申請先: 米国大使館
ビザ取得所要日数: 3か月 (申請してから何日 / 何週間要したか)	ビザ取得費用: 535 \$
<b>1. ビザ取得のためにどのような書類の提出が求められましたか? また、どのように手配しましたか?</b>	
パスポート、証明写真、DS-160 確認ページ、I-20、SEVIS I-901 の支払い証明書、英文の銀行残高証明書、プログラム開始後の到着を認める大学発行の書類	
<b>2. 具体的な申し込み手順を教えて下さい。</b>	
担当者から送信された I-20 に記載されている SEVIS ID を公式サイトに入力し、I-901 の料金を支払う。DS-160 申請ページに行き、必要情報を記入した後、米国大使館のサイトで作成した DS-160 の情報を入力し、ビザ申請料金を支払う。その後、同サイトにて面接日を予約する。予約した日程に米大使館にて面接を行い、後日ビザを受け取る。	
<b>3. ビザ取得の際に、留学先国大使館で面接のあった方は、どのような質問を受けましたか?</b>	
渡航目的、滞在先、滞在期間、滞在先での労働の有無	
<b>4. ビザ取得に関して困った点・注意点</b>	
ノーザン州立大学は他大学と比べて留学手続きの開始が遅く、ビザ申請に関する案内が届いたのは 5 月下旬でした。ちょうどその時期に米国大使館が面接予約を停止したため、長期間予約が取れず、再開後も申請が集中して面接日が大幅に遅れるなど混乱が続きました。焦りから予約を誤ってキャンセルしてしまうなどのミスもあり、最終的に面接を受けられたのは 8 月下旬、渡航できたのは 9 月初旬と予定より大幅に遅れました。結果としてプログラム開始後の参加となり、大学生活に慣れるまで時間がかかりました。	

## II-2. 留学のための渡航前手続き(その他の事前準備について)

その他済ませておくべき準備があればお書き下さい(現地での現金調達準備、携帯電話購入、荷物運送等)。

出願時に予防接種の記録を提出する必要があるため、受けていない場合はあらかじめ受ける必要があります。

携帯に関しては現地到着後にSIMが配布されたので渡航後に契約しました。大学内は寮を含めWi-fiが利用できるため、データ通信を繋がなくても生活することができますが、現地での銀行口座開設にはアメリカの電話番号が必要なため、学内アルバイトや口座開設を計画している人は追加で電話番号を契約しておくことをお勧めします。基本的にカードで支払いを行うことができますが、現地は近辺に両替所が無いため、現金は多めに持っていくと安心です。また、日本からの仕送りは送料のみで1万円以上かかるため、必要な物はできる限り持っていくか、現地で購入する方が節約になります。

## III. 現地到着後のながれ

## 1. 到着時の様子

利用航空会社	デルタ航空				
航空券手配方法	イオンコンパス株式会社 ※利用した旅行社・旅行サイト、格安航空券情報等があれば記入				
大学最寄空港名	Aberdeen Regional Airport		現地到着時刻	21:30	
キャンパスへの移動手段	<input checked="" type="checkbox"/> 大学手配の出迎え	<input type="checkbox"/> 知人の出迎え	<input type="checkbox"/> 公共交通機関(バス 電車)	<input type="checkbox"/> タクシー	<input type="checkbox"/> その他( )
移動の所要時間	約10分				

空港からキャンパスへの移動の際の注意点、タクシー・公共交通機関で移動する際の行き方、料金等

事前に現地到着時間をフォームに入力することで担当者が空港から大学まで送迎してくれます。私の場合、到着日が遅れていたので直接担当者にメールで送迎を依頼しました。

大学到着日 9月3日22時頃

## 2. 住居について

到着後すぐに住居入居できましたか?	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	いいえを選んだ方: _____	月	日から入居可能だった。
住居のタイプ	<input checked="" type="checkbox"/> 寮	<input type="checkbox"/> アパート	<input type="checkbox"/> その他( )	
部屋の種類	<input type="checkbox"/> 一人部屋	<input checked="" type="checkbox"/> 二人部屋	<input type="checkbox"/> その他( )	
ルームメイト	<input type="checkbox"/> 日本人学生	<input checked="" type="checkbox"/> 他国からの留学生	<input type="checkbox"/> その他( )	
住居を探した方法	<input checked="" type="checkbox"/> 大学の斡旋	<input type="checkbox"/> 自分で探した	<input type="checkbox"/> その他( )	
住居の申込み手順	6月末に担当者から住居申請の案内があり、そこに記載されている手順に従い申し込みました。			

住居は渡航前に、また渡航後すぐに見つかりましたか?トラブルはありましたか?

二重申請やクレジットカードの不具合による申請時の保証金支払いトラブルが発生しましたが、いずれも担当者への連絡で解決に至りました。具体的には、重複申請分はキャンセルを依頼し、保証金は現地での支払いに変更してもらうことで対応しました。

## 3. 留学先でのオリエンテーションについて

オリエンテーションの有無	<input checked="" type="checkbox"/> あった <input type="checkbox"/> なかつた
日程	8月21日から8月24日
参加必須ですか？	<input checked="" type="checkbox"/> 必須 <input type="checkbox"/> 任意参加
参加費用は？	<input checked="" type="checkbox"/> 無料 <input type="checkbox"/> 有料(金額: )
内容と様子は？	9月3日に現地に到着したため、オリエンテーションには参加できませんでしたが、後日、個別に簡単な設備の説明を受けました。
留学生用 特別ガイダンス	<input checked="" type="checkbox"/> あった <input type="checkbox"/> なかつた
授業開始日	8月25日から

## IV. その他、渡航してから必要な手続きについて

## 1. 現地で滞在許可等の申請の必要はありますか？いつ、どこで、方法は？日数、料金は？トラブルは？


## 2. その他現地でした手続きは(健康診断、予防接種等)？いつ、どこで、方法、日数、料金は？トラブルは？

学生証が発行されていなかったため、現地到着日の翌日に担当者と手続きを行いました。

## 3. 現地で銀行口座を開設しましたか？手続方法、必要書類、日数、料金は？トラブルは？


## 4. 現地で携帯電話を購入しましたか？手続方法、必要書類、日数、料金は？トラブルは？


## V. 履修科目と授業について

## 1. 履修登録はいつどのような形で行いましたか？

出発前に(8月25日頃)  
オンラインで登録 志願書類に記入して登録 できなかつた その他( )

到着後に( 月 日頃)  
オンラインで登録 国際オフィス等の仲介 できなかつた その他( )

## 登録時に留学生として優先されることはありましたか？

あった なかつた

## 優先が「あった」方はどのように優先されましたか？


## 優先が「なかつた」方はどのように登録しましたか？

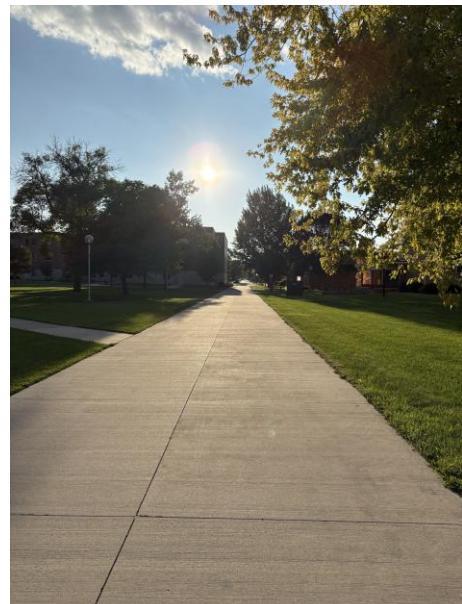
履修登録はアカデミックアドバイザーとの zoom 面談を通じて行いました。興味のある分野を相談するとそれに近い内容の授業を紹介してくれます。

## 2. 出発前に授業を登録した方は、現地で変更・追加できましたか？また希望通りの授業が取れましたか？

プログラム開始直後には履修修正期間が設けられており、到着後でも授業の変更が可能ですが、私は履修登録を開始直前に行つたため、希望する授業を履修できないことがありました。

## VI. 一週間のスケジュール 授業時間、課外活動、勉強時間等、毎日の生活について記入

	月	火	水	木	金	土	日
5: 00							
6: 00							
7: 00	起床		起床		起床		
8: 00	授業		授業		授業		
9: 00	"		"		"		
10: 00		起床		起床			
11: 00	授業	授業	授業	授業	授業	起床	起床
12: 00	昼食	昼食	昼食	昼食	昼食		
13: 00		授業		授業			
14: 00	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間		
15: 00	"	"	"	"	"		
16: 00	"	"	"	"	"		
17: 00							
18: 00	夕食	夕食	夕食	夕食	夕食		
19: 00							
20: 00	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間		
21: 00	"	"	"	"	"		
22: 00							
23: 00							
24: 00	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝



## VII. 現在までの感想

留学先大学、プログラムについて、授業、宿舎、生活全般について等、自由に書いてください。

ノーザン州立大学は比較的田舎に位置しており、平和でのどかな生活を送ることができます。しかしその分、東京と比べると娯楽が少なく、自由時間も多いため退屈に感じることがあるかもしれません。そのため、暇つぶしの道具を持参したり、時間を有効に使える趣味を作つておくことをお勧めします。大学内の生活環境は整つており、特に不満を感じることはませんでした。ただし食事面では、日本と比べてお米がべちゃべちゃしていたり、淡白な味付けが多かったりと、慣れるまでに時間がかかりました。寮の各フロアにはキッチンが設置されているため、お腹が空いたときや学食を食べたくないときは自炊をしていました。水に関しては、大学内の至る所に冷水器が設置されているため心配はいりませんが、独特の味があるので慣れるか購入する必要があります。日用品は Walmart というコストコのような大型スーパーで一通り揃えることができるため、物資には困りませんが、大学から距離があるためあまり頻繁には行けません。気候面では、11 月時点では氷点下を下回ることがあり、現地の友達によると真冬は -20 度にもなるそうです。そのため、防寒着を多めに持参することを強くお勧めします。土地自体がとても広大なため、大学外への移動には車が必須です。外出する際は Lyft を利用するか、友人に送つてもらう必要があります。休日の過ごし方としては、スポーツ観戦や公園でフリスビーをして過ごしていました。ノーザン州立大学の学生は無料でスポーツの試合を観戦できるため、アメフトやバレーの試合を気軽に楽しむことができます。また、徒歩 15 分ほどの場所にダウンタウンがあり、アジア料理のピュッフェやリサイクルショップでの買い物を楽しめます。更に、車で 15 分の場所にはショッピングモールもあります。

現地の授業では、皆話すのが速く、未だに 100% 理解することはできていません。しかし、どの先生も優しく、日本と比べて生徒との距離が近いため、相談しやすい雰囲気があります。課題の量は日本とあまり変わらないように感じますが、全て英語で提出する必要があるため、思った以上に時間がかかります。提出は D2L という Oh-o! Meiji のようなサイトで行い、授業動画や資料も全て D2L にアップロードされているため、いつでも復習することができます。

ビザ申請に関して触れておくと、ノーザン州立大学は他大学と比べて留学関連の手続き開始が遅く、ビザ申請に関する案内メールが送られてきたのは 5 月 23 日でした。しかし、それと同時に米国大使館が面接予約の新規受付を一時停止したため、長期間にわたり予約が取れない状態が続きました。なんとか予約を確保できたものの、プログラム開始日（8 月 25 日）に対して面接日が 9 月 29 日という遅すぎる日程だったため、焦って予約をキャンセルしてしまいました。

6 月中旬に面接予約の受付が再開されましたが、夏は申請者が集中する時期であり、公式サイトにアクセスしても予約枠がすぐに埋まってしまう状況が続きました。そのため、8 月まで面接日を確保できず、渡航準備を進めることもできない非常に不安定な状態が続きました。一時は、渡航が間に合わないことを想定して代替案としてザルツブルク大学への留学手続きも進めざるを得ない状況でした。

最終的に 8 月 7 日に面接予約を確保できましたが、提示された面接日は 10 月 27 日と、依然としてプログラム開始後の日程でした。そのため、緊急リクエストを提出し面接日の前倒しを依頼しましたが、リクエストが承認されるまでに約 2 週間（8 月 7 日申請 → 8 月 19 日承認）を要し、承認後の最短日程も 8 月 22 日で、結果的にプログラム開始には間に合いませんでした。

ビザが発給され、受け取り可能になったのは 8 月 26 日であり、その時点でほとんどの学生はすでに渡航を終えていました。最終的に、渡航準備を整え日本を出発できたのは 9 月 3 日で、プログラムには約 1 週間遅れて参加することとなりました。オリエンテーションを受けられなかつたため、到着当初は大学生活の流れが分からず戸惑う場面も多くありました。

この一連の出来事から、情報収集を十分に行わなかつたこと、焦りから冷静な判断ができず予約をキャンセルしてしまつたことを後悔しています。このように渡航前には思いがけないトラブルが発生することがあるため、あらかじめ情報を集め、いつでも事態に対処できる体制を整えておくことが重要だと思います。